

平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホーブ

コード番号 1382 URL <http://www.hob.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 政場 秀

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 高橋 ゆかり

TEL 0166-83-3555

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	2,985	24.9	41	△62.2	42	△66.9	26	△77.2
26年6月期第2四半期	2,390	2.5	108	—	129	—	114	—

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 26百万円 (△77.2%) 26年6月期第2四半期 115百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	34.40	—
26年6月期第2四半期	150.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第2四半期	2,380	992	41.7	1,302.78
26年6月期	1,366	996	72.9	1,308.33

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 992百万円 26年6月期 996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,101	9.5	45	△67.4	54	△67.4	36	△51.1	47.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期2Q	762,000 株	26年6月期	762,000 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

27年6月期2Q	75 株	26年6月期	75 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	761,925 株	26年6月期2Q	762,000 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策の効果や個人消費の持ち直し等により緩やかな回復傾向にあります。消費増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化や、円安による物価上昇、海外景気の下振れによる国内景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、自社いちご品種「ペチカプライム」「ペチカサンタ」を中心に、業務用いちご果実及びその他青果物の販売拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,985,281千円(前年同期比24.9%増加)、営業利益41,050千円(前年同期比62.2%減少)、経常利益42,818千円(前年同期比66.9%減少)、四半期純利益26,206千円(前年同期比77.2%減少)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります

(いちご果実・青果事業)

いちご果実・青果事業は、当社と株式会社ホープ21が行っております。その主力商品は業務用いちご果実であります。当第2四半期連結累計期間におきましては、夏秋期は自社品種である「ペチカプライム」「ペチカサンタ」と輸入いちごを、その後は国産促成いちご(とちおとめ、さがほのかなど)を主に販売しております。夏秋期におきましては、促成いちごの端境期の6月に、自社品種及び他品種とも出荷量が少なく、例年より早く輸入いちごの販売を行う状況となりました。7月に入り、中旬に向け他品種を含めた出荷量のピークが集中することになり、輸入いちごからの切り替えを進めましたが、予定通りに進まず、自社品種の販売で苦戦することとなりました。輸入いちごの販売も、円安により仕入原価の上昇があり、利益を確保するには至りませんでした。また、業務用いちご果実の最需要期となるクリスマス期は、大手洋菓子メーカーからの発注量が減少したことから売上、利益とも前年同期を下回る結果となりました。

その他青果物につきましては、コンビニエンスストア向けの売上は、前年同期を若干上回りましたが、その他の取引先からの発注量が減少したことから、売上、利益とも確保することができませんでした。

この結果、いちご果実・青果事業の売上高は2,228,663千円(前年同期比5.2%減少)、営業利益は84,948千円(前年同期比57.9%減少)となりました。

(種苗事業)

種苗事業は、当社が自社いちご品種「ペチカプライム」「ペチカサンタ」を中心とした種苗の生産販売を行っております。栽培方法には、秋に苗を定植し翌年から果実を生産する秋定植と、春に苗を定植し果実を生産する春定植の概ね2体系の作型があります。当第2四半期連結累計期間におきましては主に秋定植用の苗を販売しており、苗販売数量はほぼ前年並となりました。

この結果、種苗事業の売上高は10,475千円(前年同期比1.3%増加)、また苗生産に係る経費が若干増加したことから営業損失は991千円(前年同期は営業利益1,521千円)となりました。

(馬鈴薯事業)

馬鈴薯事業は、前第2四半期連結会計期間において連結子会社とした株式会社ジャパンポテトが行っております。同事業は、主に種馬鈴薯の生産販売、仕入販売と、青果馬鈴薯の仕入販売からなり、前第3四半期連結会計期間より四半期損益計算書を連結しております。主要売上品である種馬鈴薯には、秋から春にかけて販売する春作と夏に販売する秋作の2体系がありますが、そのメインは春作種馬鈴薯です。当第2四半期連結会計期間は、主に春作種馬鈴薯販売を行っております。

春作種馬鈴薯販売においては、例年より販売数量がやや減少いたしました。青果・加工用として販売される利益率の低い規格外の販売数量が少なかったことで、利益率は向上いたしました。また、青果馬鈴薯の販売においては、産地における収穫が順調に推移し、販売量の拡大に努めたことで、売上高、利益ともに予定を上回ることができました。

この結果、馬鈴薯事業の売上高は710,267千円、営業利益は43,553千円となりました。

(運送事業)

運送事業は、株式会社エス・ロジスティックスが行っており、関東圏を中心に運送事業を行っております。当社の商品配送を基盤としながら、一般荷主からの配送業務の受託に向けた営業を行ってまいりました。この結果、運送事業の売上高は35,875千円(前年同期比20.0%増加)となりました。

また、利益面では、提携業者との連携を強化し、自社配送の効率化及び原価の削減を図ったことで、営業利益は6,045千円(前年同期比121.4%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,020,106千円増加し、当第2四半期連結会計期間末で2,060,700千円となりました。これは売掛金が増加したことが主因であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比較して6,533千円減少し、当第2四半期連結会計期間末で319,449千円となりました。これは有形固定資産及び無形固定資産が減少したことが主因であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,013,353千円増加し、当第2四半期連結会計期間末で1,273,572千円となりました。これは未払法人税等が減少した一方、買掛金及び短期借入金が増加したことが主因であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比較して4,448千円増加し、当第2四半期連結会計期間末で113,952千円となりました。これは役員退職慰労引当金が増加したことが主因であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して4,228千円減少し、992,624千円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の72.9%から41.7%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比較して36,616千円減少して346,702千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は329,888千円(前年同期は119,379千円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益42,978千円の計上、仕入債務699,297千円の増加があったものの、売上債権1,076,747千円の増加、たな卸資産63,267千円の増加、法人税等の支払額45,467千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は6,611千円(前年同期は73,084千円の使用)となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入14,379千円があったものの、有形固定資産の取得による支出4,709千円、敷金及び保証金の差入による支出15,944千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果取得した資金は299,883千円(前年同期は299,798千円の取得)となりました。これは主に短期借入金の返済による支出240,000千円があったものの、短期借入れによる収入570,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、経営環境及び最近の業績動向を勘案し、予想数値を修正いたしました。

なお、当該予想数値に関する詳細は、平成27年2月5日に開示しました、「平成27年6月期第2四半期(累計)連結・個別業績予想数値と実績数値との差異及び通期連結・個別業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	384,327	347,710
売掛金	473,818	1,549,544
たな卸資産	57,102	120,369
未収還付法人税等	519	—
その他	134,657	57,584
貸倒引当金	△9,831	△14,509
流動資産合計	1,040,593	2,060,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	124,740	120,601
機械装置及び運搬具(純額)	53,896	52,524
土地	70,111	70,111
その他(純額)	900	2,078
有形固定資産合計	249,649	245,316
無形固定資産		
のれん	26,536	25,140
その他	5,580	4,794
無形固定資産合計	32,116	29,934
投資その他の資産		
その他	44,228	44,698
貸倒引当金	△12	△500
投資その他の資産合計	44,216	44,198
固定資産合計	325,982	319,449
資産合計	1,366,576	2,380,149
負債の部		
流動負債		
買掛金	128,696	827,994
短期借入金	—	330,000
未払法人税等	47,338	22,529
賞与引当金	1,126	1,397
その他	83,058	91,651
流動負債合計	260,219	1,273,572
固定負債		
退職給付に係る負債	36,274	38,016
役員退職慰労引当金	70,320	73,005
その他	2,908	2,930
固定負債合計	109,503	113,952
負債合計	369,723	1,387,525

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	421,250	421,250
資本剰余金	432,250	432,250
利益剰余金	143,428	139,158
自己株式	△90	△90
株主資本合計	996,838	992,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	55
その他の包括利益累計額合計	13	55
純資産合計	996,852	992,624
負債純資産合計	1,366,576	2,380,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,390,918	2,985,281
売上原価	1,881,130	2,504,931
売上総利益	509,787	480,349
販売費及び一般管理費	401,088	439,299
営業利益	108,698	41,050
営業外収益		
受取利息	82	511
保険解約返戻金	18,084	—
債務勘定整理益	680	405
その他	1,827	947
営業外収益合計	20,673	1,864
営業外費用		
支払利息	8	96
営業外費用合計	8	96
経常利益	129,363	42,818
特別利益		
固定資産売却益	408	159
特別利益合計	408	159
特別損失		
固定資産売却損	116	—
固定資産除却損	4	—
特別損失合計	121	—
税金等調整前四半期純利益	129,650	42,978
法人税等	14,653	16,771
少数株主損益調整前四半期純利益	114,997	26,206
四半期純利益	114,997	26,206

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	114,997	26,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	41
その他の包括利益合計	72	41
四半期包括利益	115,069	26,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,069	26,248
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	129,650	42,978
減価償却費	10,369	10,345
のれん償却額	—	1,396
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,647	5,165
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,050	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	1,741
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	270
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	2,685
受取利息及び受取配当金	△82	△511
支払利息	8	96
有形固定資産売却損益(△は益)	△291	△159
固定資産除却損	4	—
売上債権の増減額(△は増加)	△761,978	△1,076,747
たな卸資産の増減額(△は増加)	△27,227	△63,267
仕入債務の増減額(△は減少)	507,295	699,297
その他	18,469	91,396
小計	△126,183	△285,312
利息及び配当金の受取額	82	511
利息の支払額	△52	△151
法人税等の支払額	△1,916	△45,467
法人税等の還付額	8,691	531
営業活動によるキャッシュ・フロー	△119,379	△329,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の払込による支出	△10	—
有形固定資産の取得による支出	△1,789	△4,709
有形固定資産の売却による収入	17	185
無形固定資産の取得による支出	—	△543
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△90,625	—
貸付けによる支出	△152,500	—
貸付金の回収による収入	152,725	229
敷金及び保証金の差入による支出	△18,931	△15,944
敷金及び保証金の回収による収入	19,976	14,379
その他	18,054	△207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,084	△6,611
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	570,000
短期借入金の返済による支出	—	△240,000
配当金の支払額	△201	△30,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	299,798	299,883
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	107,334	△36,616
現金及び現金同等物の期首残高	387,194	383,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	494,528	346,702

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	いちご果 実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
外部顧客への売上高	2,350,693	10,339	—	29,885	2,390,918	—	2,390,918
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	92,321	92,321	△92,321	—
計	2,350,693	10,339	—	122,207	2,483,240	△92,321	2,390,918
セグメント利益	201,682	1,521	—	2,730	205,934	△97,236	108,698

(注) 1. セグメント利益の調整額△97,236千円には、セグメント間取引消去1,763千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,999千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「馬鈴薯事業」セグメントにおいて、株式会社ジャパンポテトの全株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において27,933千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	いちご果 実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
外部顧客への売上高	2,228,663	10,475	710,267	35,875	2,985,281	—	2,985,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	95,079	95,079	△95,079	—
計	2,228,663	10,475	710,267	130,955	3,080,361	△95,079	2,985,281
セグメント利益又は損 失(△)	84,948	△991	43,553	6,045	133,557	△92,506	41,050

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△92,506千円には、セグメント間取引消去514千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△93,020千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。